

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和元年8月22日

独立行政法人水資源機構
池田総合管理所長 足達 謙二

1. 目的

この歩掛参考見積依頼書は、早明浦ダム管理事業で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を徴取するものです。

なお、この参考見積依頼書は、業務等の指名（若しくは競争参加資格）をお約束するものではありません。

2. 参考見積書提出の資格

(1) 水資源機構における平成31・32年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。

(2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。

(3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

(1) 参考見積書は作業項目毎に必要な技術者、資機材の数量等を記載して提出してください。
なお、別紙－2「歩掛参考見積内容」を満たすものであれば、見積書の様式は問いません。

(2) 提出期間 令和元年8月30日（金）から令和元年9月5日（木）まで
持参する場合は、上記期間の午前10時から午後4時まで

(3) 提出先

独立行政法人水資源機構 池田総合管理所長 足達 謙二 宛

【担当】総務課 久次米

〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻4235番地1

TEL 0883-72-2050 FAX 0883-72-0727

(4) 提出方法

書面は持参、郵送又はFAX（社印があること）により提出するものとします。

(5) 見積有効期限

令和2年3月31日までとします。

4. 参考見積内容

(1) 業務基本条件

本業務は、早明浦ダム貯水池内の堆砂状況を把握するため、深淺測量、河川測量及び堆砂量の算出を行います。詳細については、別紙ー1「業務内容」のとおりとします。

(2) 業務作業項目及び数量

別紙ー2「歩掛参考見積内容」のとおりとします。

(3) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（調査等編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は、基準書で定義されている直接人件費のうち、上記(2)「歩掛参考見積内容」を実施する為に必要な技術者、資機材の数量等を徴取します。

(4) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「平成31年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 依頼書に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合は、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和元年8月23日（金）から令和元年8月29日（木）まで
持参する場合は、上記期間の午前10時から午後4時まで

(2) 提出先：3. (3)に同じ。

(3) 提出方法：3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和元年9月2日（月）から令和元年9月5日（木）まで

(2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

歩掛参考見積内容

項目	工種	種別	細別	作業工程	規格	単位	数量	見積もり依頼内容	内訳
応用測量						式	1		
	堆砂測量					式	1		
		堆砂測量				式	1		
			作業計画			式	1	深浅測量（測量業務標準歩掛）見積り不要	
			現地踏査		深浅測量 河川定期横断測量	式	1	深浅測量（測量業務標準歩掛）見積り不要 河川測量（測量業務標準歩掛）見積り不要	
			堆砂測量A		水深1m以上：測線上をノーマル 水深1m未満：測線上を河川定期横断	測線	122		
				貯水池深浅測量A	観測 点検整理	式	1	内訳表を参考に記載願います (122測線対象)	内-1
				河川定期縦断測量 間接水準	観測 点検整理	式	1	河川測量（測量業務標準歩掛）見積り不要	
			堆砂測量B		水深1m以上：測線上をノーマル 水深1m未満：測線上を河川定期横断	測線	2		
				貯水池深浅測量B	観測 点検整理	式	1	内訳表を参考に記載願います (2測線対象)	内-2
				河川定期縦断測量 間接水準	観測 点検整理	式	1	河川測量（測量業務標準歩掛）見積り不要	
			堆砂測量C		水深1m未満：測線上を河川定期横断	測線	2		
				河川定期縦断測量 間接水準	観測 点検整理	式	1	河川測量（測量業務標準歩掛）見積り不要	
			データ入力及び 結果整理		各種データ入力 図面作成等結果整理	式	1	内訳表を参考に記載願います	内-3

項目	工種	種別	細別	作業工程	規格	単位	数量	見積もり依頼内容	内訳
			報告書作成			式	1	内訳表を参考に記載願います	内-4
共通						式	1		
	共通					式	1		
		打合せ等				式	1		
			打合せ			式	1	見積り不要	
直接経費						式	1		
	直接経費					式	1		
		旅費交通費				式	1		
			旅費交通費			式	1	見積り不要	
		電子成果品作成費				式	1		
			電子成果品作成費			式	1	見積り不要	
		印刷製本費				式	1		
			印刷製本費			式	1	見積り不要	
直接測量費						式	1		
間接測量費						式	1		
	諸経費					式	1		

歩掛参考見積内訳

内-1～3の見積依頼箇所（網掛け部分）に歩掛の記入をお願いします。

 見積依頼箇所

貴社名



内-1 貯水池深浅測量

1式当り

項目	名称	単位	数量	単価	金額	摘要
直接人件費						
	測量技師	人				
	測量技師補	人				
	測量助手	人				
	測量補助員	人				
	測量船操縦士	人				
機械経費						
	ライトバツ、測量機器等	%				直接人件費に対する割合
材料費						
	ガソリン等	%				直接人件費に対する割合
精度管理費		率	0.09			深浅測量 精度管理費係数
合計						

内-2 データ入力及び結果整理

1式当り

項目	名称	単位	数量	単価	金額	摘要
直接人件費						
	測量技師	人				
	測量技師補	人				
	測量助手	人				
	測量補助員	人				
	測量船操縦士	人				
機械経費						
	ライトバツ、測量機器等	%				直接人件費に対する割合
材料費						
	ガソリン等	%				直接人件費に対する割合
精度管理費		率	0.09			深浅測量 精度管理費係数
合計						

項目	名称	単位	数量	単価	金額	摘要
直接人件費						
	測量技師	人				
	測量技師補	人				
	測量助手	人				
	測量補助員	人				
機械経費						
	ライトバン、測量機器等	%				直接人件費に対する割合
材料費						
	ガソリン等	%				直接人件費に対する割合
精度管理費		率	0.09			深淺測量 精度管理費係数
合計						

第 2 章 業務内容

第 1 節 業務目的

本業務は、早明浦ダム貯水池内の堆砂状況を把握するため、堆砂測量を行い、堆砂量を算出するものである。

第 2 節 測量位置

測量位置は、別添図（早明浦ダム堆砂状況調査業務測量位置図）のとおりとする。

第 3 節 業務内容

本業務で実施する測量は、別添図に示す堆砂測量用の測線上を対象に水深 1m 以上はナローマルチビーム測深器（ビーム幅 $0.5^{\circ} \times 1.0^{\circ}$ 相当）を用いた深淺測量、水深 1m 未満は河川定期横断測量を行うものとする。

3-1 作業計画

受注者は、測量方法、使用する主要な機器、要員、日程等について適切な作業計画の立案を行うものとする。

3-2 現地踏査

測量作業に先立ち、既設堆砂杭の設置位置及び測量範囲の周辺状況等を確認し、結果を監督員に報告するものとする。

なお、既設堆砂杭の詳細な設置位置は、第 1 章第 10 節の貸与資料に示すとおりとする。

3-3 堆砂測量 A・堆砂測量 B・堆砂測量 C

堆砂測量 A は最大水深 3 m 以上に適用し、堆砂測量 B は最大水深 1 m 以上 3 m 以下に適用し、堆砂測量 C は最大水深 1m 以下に適用する。

1. 艀装テスト

受注者は、測量作業に先立ち艀装テストを行い、機器の調整等を行うものとする。

艀装テストの結果、船位の観測等に問題が生じる場合は、その対応について監督員と協議するものとする。

艀装テスト実施回数は、ダム・貯水池深淺測量の実施日毎、毎回実施するものとする。

2. ダム・貯水池深淺測量（水深 1m 以上）

既設堆砂基準杭を基準とした GNSS 測位により堆砂測量用の測線上の水深をナローマルチビーム測深器を用いた深淺測量にて、測量するものとする。

測量に使用する船舶については貸与を想定しているが、受注者が用意した船舶を使用する場合は、監督員の承諾を得るものとする。この場合、設計変更の対象としない。また、測量完了時には、受注者が持ち込んだ船舶は速やかに撤去するものとする。

3. 河川定期横断測量（水深 1m 未満）

陸上部及び水深 1m 未満の河床部の地盤高は、河川定期横断測量（間接水準）を行うものとする。

3-4 点検測量

公共測量作業規程第 1 編第 13 条に基づき実施するものとし、点検測量率は 5% とする。

3-5 データ入力及び結果整理

1. データ入力

受注者は、堆砂計算に使用する測線の標高データ（横断方向に 5 m 間隔）を作成し、機構が貸与する堆砂測量図化システムに入力するものとする。

(1) 縦横断面図の作成

作成する縦横断面図は、以下のとおりとする。

①平均、最深河床縦断面図 9 断面（縮尺：縦 1/500、横 1/10,000）

②横断面図 162 断面（縮尺：縦 1/200～500、横 1/500～1,000）

上記①、②の作成については機構が貸与する図化システムにより自動化されている。図面の縮尺についても予めシステムに登録してあるので基本的に編集作業は必要としない。

なお、編集作業が必要となった場合は、監督員と協議するものとし作業方法は「調査要領」によるものとする。

2. 結果整理

(1) 堆砂量及び貯水容量計算

①貯水池における堆砂量計算

②貯水容量計算は、堆砂容量・死水容量・有効貯水容量・利水容量・洪水調節容量、末端貯水容量毎に区分するものとする。

(2) 現在洪水位計算

貯水池における現在洪水位計算は、設計水位を出発水位として設計洪水流量を流した場合の洪水計算とし、背水計算は不等流計算手法によるものとする。

(3) 堆砂状況調査測線一覧表作成

基準水位（現地測量期間中の平均貯水位）、測線毎の最大水深について水深 1m 未満、水深 1m 以上～3m 未満、水深 3m 以上に区分し測量幅を整理した「堆砂状況調査測線一覧表」を作成するものとする。

堆砂状況調査測線一覧表は、貸与資料によるものとする。

(4) 経年的堆砂状況整理

貸与資料を基に平成 30 年度堆砂量実績と令和元年度堆砂量実績を比較し、堆砂量の増減要因を整理するものとする。

(5) 説明資料（案）作成

貸与資料（ワーポイント資料 A4 サイズ 3 枚程度）を基に時点更新を行うものとする。

(6) その他

上記の堆砂量計算、貯水容量計算、現在洪水位計算は、機構が貸与する図化

システムにより自動的に計算されるようになっており、各種係数等も予め入力済みである。そのため、基本的に編集作業は必要としない。

なお、編集作業が必要となった場合は、監督員と協議するものとし作業方法は「調査要領」によるものとする。

3-6 報告書作成

1. 報告書作成

(1) 報告書作成

本業務成果をとりまとめ報告書及び報告書概要版を作成するものとする。

第 4 節 貸与品

本業務において必要となる材料については、次表のとおり貸与するものとする。

1. 貸与品

品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
図化システム	Qwace'n Ver. 2	式	1	

第 5 節 作業船・巡視船の貸付け

受注者に貸付ける作業船・巡視船は、次表のとおりとする。

1. 作業船・巡視船

機 械 名	規 格	単 位	数 量	備 考
作業船 船名:さめうら	定員:7名	隻	1	燃料は受注者にて準備する。

－ 以 上 －

早明浦ダム堆砂状況調査業務測量位置図

別添図

名称	最大水深	平均測量幅 B1+W+B2	平均水面幅 W	平均陸上幅 (m)	測線数	備考
堆砂測量A	3m以上	269m	184m	85m	122	令和元年度想定
堆砂測量B	1~3m未満	149m	32m	117m	2	令和元年度想定
堆砂測量C	1m未満	65m	—	65m	38	令和元年度想定

